

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
プログラミング言語Ⅱ Programming Language II		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義	選択		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
コンピュータアーキテクチャ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小林 大輔	講義棟1F	火曜～金曜 (授業、会議時間以外)		授業中に指示します
授業の概要				
1年次のプログラミング基礎、プログラミング言語Ⅰで学んだ内容に加え、様々な機能を使用したプログラムを作成し、Android端末で実行する。Androidアプリケーションのアーキテクチャ、各種センサの利用方法の詳細についても解説する。				
授業の到達目標				
①Androidアプリの開発環境を利用することができるようにする。 ②アクティビティ、インテント、各種センサ等、Androidの機能を利用することができるようにする。 ③アプリを作成し、エミュレータで実行することができるようにする。				
授業の方法				
講義を中心とし、理解を助けるための演習、課題を適宜用いる。				
学習の成果				
①Androidアプリ作成の手順を説明することができる。 ②Android用サンプルアプリの動作を説明することができる。 ③Android端末の動作を説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス、Androidの概要			
第2回目	Androidアプリケーションのアーキテクチャ			
第3回目	リソースファイルについて			
第4回目	ユーザーインターフェイス (1)			
第5回目	ユーザーインターフェイス (2)			
第6回目	基本コンポーネント (1)			

第7回目	基本コンポーネント (2)		
第8回目	ネットワークに利用方法 (1)		
第9回目	ネットワークに利用方法 (2)		
第10回目	各種センサの利用 (1)		
第11回目	各種センサの利用 (2)		
第12回目	各種センサの利用 (3)		
第13回目	アプリ作成課題 1		
第14回目	アプリ作成課題 2		
第15回目	課題提出とまとめ		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度			加点はしないが、受講態度が著しく悪い場合は減点し、場合によっては退室してもらう。
レポート			
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験	100%		課題のプログラムが動作するかで判断し、採点基準は「正常に動作する (60)、若干の修正によって動作する (50)、大幅な修正が必要 (40～30)、未完成 (30点未満)」(かつこ内は配点)である。
発表内容 (態度含む)			
その他			無断欠席は1回につき5点減点する。理由のない遅刻2回で1回の無断欠席として減点する
教科書と参考図書			
教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布する。 参考書：「携帯OS教科書 Androidアプリケーション技術者ベーシック」(山本道子)、「明解Java 入門編」(柴田望洋)、「Androidプログラミングレシピ」(D. Smith, J. Friesen 著 吉田邦夫 訳)「作ればわかる! Androidプログラミング」(金宏和賞)			
履修上の心得・ルール			
平成24年度入学生用(2年生用)科目であり、1年次にプログラム基礎とプログラミング言語Ⅰを共に履修した学生のみ履修することができる。演習中の私語や、演習以外のPCの利用は慎むこと。			